

平成29年度 事後事務事業評価シート

事業名	ハスカップ地域ブランド化総合推進事業	担当課・グループ	作成者（職・氏名）
		産業経済課経済グループ	主事 南部 友基

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成27年度	事業主体	会計区分	予算科目		
	事業終了年度	平成37年度	厚真町	一般	7	1	3 928
事業の性質	法令に基づかない自主的事業			条例等の有無	無		
根拠法令・例規計画等							
総合計画	基本目標	みのり豊かなあつま					
	基本施策	農業の振興					
	施策項目	安全・安心な食づくりの推進					
	※総合戦略	農商工連携、6次産業化の推進					

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	栽培面積日本一を誇るハスカップを関係する生産者や事業者、関係団体などが連携して、ハスカップの付加価値向上やブランド化、特産品開発を推進することにより地域活性化を図る。
事業の内容 (手段・方法等)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催（年4回） ・都市部のホテル、飲食店等への販路拡大 ・「ハスカップフェア」を始めとする町内PRイベントの実施 ・ハスカップの安定供給を目的に収穫方法等に対する新技術導入 ・都市部飲食店と共同メニューの開発と販売 ・ハスカップのPR用パンフレット等の作成 ・地域団体商標登録等の取得によるブランド化の構築 ・生産拡大を支援するため苗木購入の補助 ・担い手の育成を目的にセミナーの開催
対 象	・町内業者及びハスカップ農業者 ・町外の加工業者及び飲食店事業者 ・都市部一般消費者
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体商標登録など各種取り組みを通じて産地としての厚真町の認知度向上 ・ハスカップの生産基盤強化と加工品を含めた流通経路の開拓、観光入込客数の増加

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		26年度実績 (評価対象前々年度)	27年度実績 (評価対象前年度)	28年度実績 (評価対象年度)	29年度予算 (評価実施年度)	適 用
総事業費		0	5,281	10,882	13,547	
事業費		0		8082	10,847	
特定財源	国・道支出金		2,051	7,773		
	町債					
	その他				8,449	ふるさと応援基金2,000千円 いきいきふるさと助成金1,000千円
一般財源			830	309	2,398	
人件費 (@4,000*時間数)			2,400	2,800	2,700	事務事業時間配分計算表(別紙)により算定
事業費の 主な内訳	旅 費		32	13	20	
	需用費		433	543	662	
	役務費		1,145	1,328	1,548	
	委託料		1,036	4,565	3,314	

その他	235	1,633	5,303
-----	-----	-------	-------

② 実績・成果

指標名称		26年度(実績) (評価対象前年度)		27年度(実績) (評価対象年度)		28年度(見込) (評価実施年度)		37年度 (目標年度)	
		数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な活動指標 ハスカップフェア開催期間	目標	20	日間	20	日間	20	日間	20	日間
	実績	16	日間	20	日間	20	日間		
	達成度	80	%	100	%	100	%		%
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する									
主な成果指標 ハスカップ観光農園入込客数	目標	3,000	人	3,500	人	3,500	人	10,000	人
	実績	3,340	人	3,270	人	3,734	人		人
	達成度	111	%	93	%	107	%		%
※数値化できない成果や指標の変更等について記載する									

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	特産果実厚真産ハスカップの生産拡大を図るため生産者・関係団体・行政が連携した事業であり、厚真町の及び厚真産ハスカップの認知度アップの面からも妥当性が高い。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	PRから生産強化、担い手育成など幅広い分野を対象として協議会が主体で事業を進めており、都市圏の店舗や企業などとマッチングした積極的な取り組みを進めていることから有効性は高い。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	直接的な効果が期待できる年代・PRエリアを限定し、そこに合わせた広告媒体を使用することでコストの低減を図っている。また、メディア関係者に情報発信を行う事で無料で雑誌等への掲載にも繋がっているなど効率性は高い。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	拡大
理由	厚真産ハスカップとして地域団体商標登録を取得した後の具体的な戦略構築や、需用に 対応できる供給量の確保など、消費拡大へと繋げるためには担い手の育成や生産農 家等の拡大及び収穫効率の改善、加工品開発など事業拡大が必要である。				
課題および改善提案	厚真産ハスカップがブランド果実として全国区の知名度になるため、優れた機能性を軸と した機能性表示食品の開発や統一された広報PRなどブランド化戦略を構築することが重 要となる。 また、担い手の育成や生産農家等の拡大についてもJA及び農業普及センターなどの専門 機関と協議を重ね、機械設備の導入や加工用としての収穫など生産拡大を図る取り組みが 急務となっている。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択。

6 評価 (本欄は、理事者ヒアリング・内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	拡大
意見					



7 外部評価委員会評価結果

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	拡大
附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> 普及センターや道立農業試験場等と連携して、収穫機械を開発するなど、収穫効率の向上に向けた取組を推進すべき。 ブランド力を高めるための努力を行うべき。 				
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容が多岐に渡りすぎており、全体がぼやけている印象。限られた予算を有効活用するためにも、年度ごとに重点的に行う分野を絞り込む必要があるのではないか。 町として本気でハスカップのブランド化を推進するのであれば、予算を拡大しなければならないのではないか。 				

評価に対する町の考え方

- ・現在、JAが主体となって収穫及び洗浄機械の開発を行っているところです。
- ・ハスカップブランド化協議会が中心となりブランド化のための活動を展開しており、卸価格の上昇など、取組の効果も見られています。
- ・地方創生関連予算もあり多くの事業を実施した経緯あり。今後は事業の重点化を図っていきます。
- ・今後も、限られた予算の中で、より有効な事業推進を図っていきます。